

# 外食業の特定技能外国人受入れ例

# 農林水産省

## 事業者の概要

### 【外食総合事業者（牛丼店等）】

- ・ 所在地：東京都（本部）
- ・ 店舗数：1,945店舗（2021年1月末現在）
- ・ 従業員数：本社・工場合わせて正社員 約14,000人（特定技能の外国人は約40名）
- ・ 事業内容：牛丼やカレーなどの提供 など

## 事業者の取組

- ・ 特定技能制度の創設に合わせて、グループ内に登録支援機関を設立し、採用、入社、キャリアアップ教育、生活支援まで総合的に対応している。
- ・ 店舗スタッフとして接客、調理、衛生管理などを行っており、業務内容は日本人社員と変わらない。
- ・ 特定技能外国人に対しては、「業務」と「人間形成・自己成長」を中心に計画的に研修を実施している。また、日本語能力を向上させるため、教育アプリを提供して学習を支援。また、現場での相互理解の醸成のため、外国人材を受け入れる店舗のマネジャー（日本人）への研修も重視している。

## 事業者の評価

- ・ 会社としても店舗でのアルバイト経験者に引き続き就労してもらうことは大歓迎。
- ・ 特定技能外国人には、3～4年目には店長を務めてもらいたいと考えている。また、本人の意欲と能力によっては、エリアマネジャーや本部スタッフなどへの登用も検討している。
- ・ 2人とも将来のビジョンをしっかりとっており、特定技能外国人の先駆者として期待している。

## 特定技能外国人の紹介

### Bさん（女性・27歳・ベトナム出身・2016年来日）

ベトナムの高校を卒業後来日し、日本の専門学校（N2取得）を経て、在学中に現在の受入事業者でアルバイト。卒業を機に特定技能外国人を申請し、2019年4月就労。

### Tさん（男性・23歳・ベトナム出身・2016年来日）

ベトナムの高校を卒業後来日し、日本の専門学校（外国語通訳）の卒業を機に特定技能外国人を申請し、2019年4月就労。



接客するBさん



店内を清掃するTさん



外国人を対象とした研修の様子

## 本人インタビュー

- Q 特定技能制度を活用し、日本で引き続き働こうと思った理由は？
- A （Tさん） 留学生アルバイトとして働いており、リーダーシップやマネジメント力を身につけたいと思いました。
- （Bさん） 留学生の時に特定技能制度ができ、受入事業者で仕事がしたいと考えていました。
- Q 仕事についてはどうですか？
- A （Tさん） お客様に笑顔で「ごちそうさま」と言ってもらえるのが喜びです。
- （Bさん） アルバイトに比べて責任が大きいです、やりがいがあります。
- Q 将来の夢は？
- A （Tさん） ベトナムに帰って、この受入事業者の経営に貢献したいです。
- （Bさん） 出来れば、ずっと日本で働きたいです。